



筐中だより

伊丹市立笹原中学校 学校通信
第18号 令和2年 1月20日
編集責任者 校長 藤口 太志

< 有終の美を飾る >

~ 「良い習慣」「当たり前のこと」を続けること ~

“有終の美” (緑川 哲夫)

「有終の美を飾る」ということは、自然のたたずまいを述べている言葉です。みのりの秋の自然の美しさ、一日を終わっての夕暮れの美しい情景などが「有終の美」ということでしょ。小説『アルプスの山々の少女』はクララとハイジの物語です。読んだことのある人も多いと思います。そのはじめの方に、ハイジがアルムのおじいさんに、今日の夕暮れの美しい山や牧場の風景、燃えるような山や牧場がめずらしかったことを話す場面があります。そこでハイジは、「山や牧場が燃えているようで、美しくなるのはどうして?」と、夕焼けがなぜ美しいのかとおじいさんに聞くのです。おじいさんは、「なんでもな、お別れする時の言葉が、一番美しいんだよ。太陽が、山や牧場におやすみを言う時には、とっておきの一番美しい光を投げて、お別れの挨拶をするんだよ」と答えます。私は、「有終の美」という言葉を聞くと、いつも、このおじいさんがハイジに答えた言葉を思い出します。何ごとも自然であれば、そのままであれば、すべては美しくなっていくのだろうと、私は考えています。

人間は本性として、終わりを美しく締めくくろうという心があります。

最後を飾る、最後を飾りたいという心があります。

「人生においては、いつでもゴールはスタートである」

といいます。諸君の有終の美がどう飾られるか、期待しています。



3学期は、総まとめの学期です。ぜひ、有終の美を飾ってほしいと思います。「有終の美を飾る」とは、「物事をやり通し、最後を立派に仕上げること。結果が立派であること。」です。

「有終の美」について、私がいつも思い出すお話がありますので、上に載せました。

筐中では、学校としての目標の1つに「**当たり前のことを当たり前にする**」というのがあります。しかし、この当たり前というのは、**はじめからあるのではなく、みんなが努力してつくりあげているもの**なのです。つまり、**ONE TEAM**として、みなさんを含め、今までの先輩方、保護者、地域の方々が協力して、これまでの筐中の様々な当たり前を積み上げてきているということです。その学校の伝統というものは、このようにしてつくられていくんだと思います。

ぜひ、この3学期、「**有終の美を飾るために**」、「**当たり前のことを当たり前のこととして**」続けてほしいと思います。そして、できるのであれば、今のみなさんが**ONE TEAM**として、**新しい筐中の当たり前**を、1つでも、2つでも創ってもらえると嬉しい限りです。

1. 17 阪神・淡路大震災 25年の節目

先週金曜日に、「1.17のつどい」「1.17追悼行事」が、兵庫県内各地で行われました。筐中でも、5校時に「防災学習」、6校時に「地震想定避難訓練」を実施しました。また、毎年1月16日の夕方から17日の早朝にかけて**昆陽池公園**で行われる「追悼のつどい」で火を灯すローソクに、「震災復興」や「鎮魂の祈り」などを祈念したメッセージを書いてもらいました。生徒会本部役員の人たちが、筐中生分を届け、準備のお手伝いをさせていただきました。

さて、みなさんは、これらの学習を通してどんなことを感じましたか? 阪神・淡路大震災を「**忘れない**」と言われても、みなさんにとっては、生まれる前の出来事であり、現実味がなくてすよね。けれども、「**忘れない**」ことが必要です。なぜなら、これから先、日本のどこに住んでいても、いつ大災害が起きるかわからないからです。それも、かなり高い確率で。

では、そのために、どうすればよいか? 私は次のように考えます。

①「知る・学ぶ」②「想定する」③「訓練する・行動する」④「語り継ぐ・伝える」

①「知る・学ぶ」：自分たちが生まれる前のことであっても、まず、何が起きたのか? どのような状況だったのか? など、とにかく正確な事実を「**知り・学ぶ**」こと。

②「想定する」：学んだことにもとづいて、同じようなことが自分たちに起こったらどうすればよいのかを「**想定する**」こと。

③「訓練する・行動する」：想定したことにもとづいて、自分事として、実際に訓練し、行動する。かたちだけの避難訓練にしない。自分事として約束事を徹底する。「**釜石の奇跡**」(東日本大震災時)はここから生まれている。(※ウラ面に資料添付)

④「語り継ぐ・伝える」：未来につないでいく。「**忘れない**」ためには、これが大切。最後に防災教育の基本は、【**自助**】【**共(協)助**】【**公助**】です。

【部活動・コンクールの誉れ】<個人の部>

○ 水泳：竹内 慶悟 準優勝 & 優秀選手賞
第71回近畿中学校選手権水泳競技大会 (※伊丹スポーツアワードでも表彰・受賞)

【2020年2月の主な行事】

1日(土) 土曜学習 伊丹市人権・同和教育研究大会	17日(月) 公立高校推薦・特色選抜・ 多部制I期試験(3年給食なし)
3日(月) 1年演劇ワークショップ	21日(金) 3年学年末テスト
5日(水) 1年演劇ワークショップ	22日(土) 土曜学習
6日(木) 1年演劇ワークショップ	公立高校推薦・特色選抜・ 多部制I期合格者発表
8日(土) 土曜学習	27日(木) 1・2年学年末テスト1日目 (1・2年給食なし)
10日(月) 私立高校入試(3年給食なし)	3年球技大会
11日(火・祝) 私立高校入試	28日(金) 1・2年学年末テスト2日目
15日(土) 土曜学習 学校運営協議会	

★2月の【土曜学習】は、毎週開催します。特に3年生は、受験に向けてガンバレー!

【2月の放課後学習】

2月5日(水)・20(木)・21日(金)・25日(火)・26日(水)